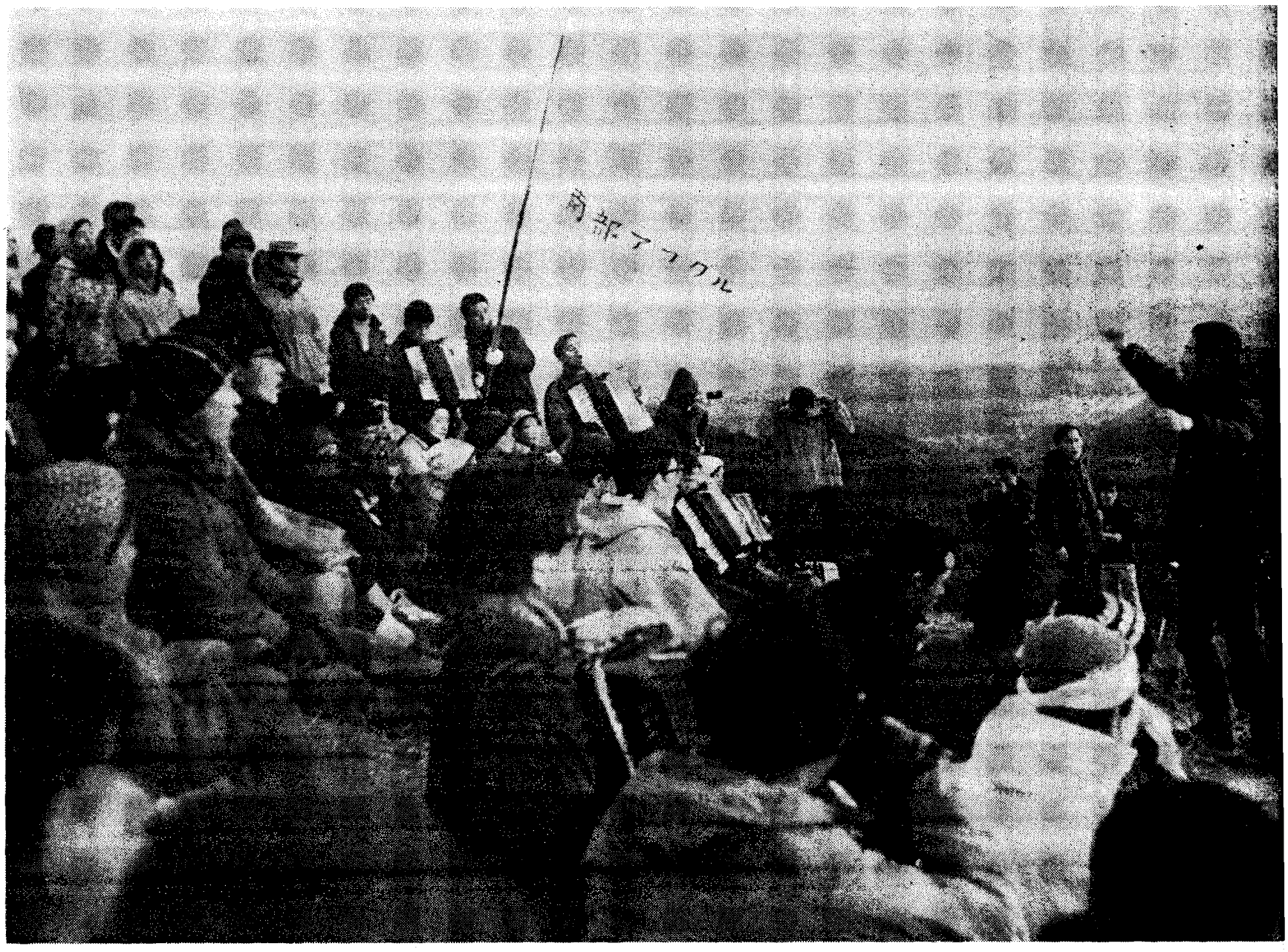
うたごえ新聞

編集　日本のうたごえ実行委員会
発行　うたごえ新聞社
東京都新宿区西大久保3の67
電話（200）0101～5
振替番号　東京5631

1部20円（一部読者は〒共6か月420円）

主な記事

二面　みんなで考えよう（「若者たち」の評価について）。今月生れの音楽家「シューベルト」。NHK紅白歌合戦をきいて。こうして生れた、あかつきの大合唱（赤嶺成輝）
三面　中央合唱団二十年の歩み（その二）
四面　当面する春闘の中でのうたごえの活動。春闘にあたっての各労働組合への申入れ。楽譜「平和を守る我らの戦列」
五面　あかつきの大合唱各地の通信
六面　67年日本のうたごえ総会分科会より「うたごえ新聞の拡大のために」



沖縄即時全面返還の願いをこめてうたいかわす東京「あかつきの大合唱」（元旦、景信山々頂）

「沖縄を返せ」の統一行動

〝あかつきの大合唱〟各地で成功

日本のうたごえは、一九六八年の新年を迎えるにあたり、第十二回沖縄「あかつきの大合唱」に二十八名の第五次沖縄派遣日本のうたごえ代表団をおくるとともに、これに呼応して、全国各地で「あかつきの大合唱」にとりくみました。代表団は、沖実委代表団としても、あかつきの大合唱参加をはじめ、沖縄県民との交流、調査活動を成功させるとともに、現地で臨時全国中心合唱団活動者会議をひらき、アピールを発表するなど精力的に活動しました。各地の「あかつきの大合唱」は、民主勢力の統一行動の第一歩となり、日本のうたごえ運動二十周年を迎え、一千万人をめざす運動の新たな出発点として、成功をおさめました。（関連記事は二面と五面）

七百名が景信山へ

東京、昨年を上回る参加者

四回目を迎えた東京の「あかつきの大合唱」は、元旦の初日の出をのぞんで神奈川県境景信山頂に、昨年をとまわる七百名を集めてひらかれました。

東京のうたごえ協議会に結集する中心合唱団、サークルをはじめ民青など青年学生代表者会議からの参加者もふくめて、中央く結集した仲間たちは、初詣客でごったがえす高尾山へのぼり、山頂で「沖縄を返せ」の第一声。小仏峠をへて景信山頂についたのは午前五時すぎ。

六時四十分の日の出とともに、昨年都知事選挙を斗った「おはよう東京」を皮切りに、沖縄青年合唱団の赤嶺さんの指揮で「一坪たりとも渡すまい」をうたい、つづいて「砂川」「地底のうた」「返せ沖縄」を合唱、日米共同声明後の新たな情勢の中で、沖縄の即時無条件全面返還の斗いを強めてゆこうとちかい合ったのでした。

この「あかつきの大合唱」には沖縄のうたごえ実行委、日本のうたごえ沖縄派遣代表団、青年学生代表者会議から共斗の祝電が寄せられました。

栃木で八十名参加

栃木県下のあかつきの大合唱は、宇都宮市と栃木市でそれぞれひらかれました。

栃木市では、栃木青年合唱団をはじめ民青、労音、職場の仲間たち八十名（昨年は五十名）が参加し永野川の河原で開かれました。

大晦日の午後十一時からファイヤーをかこんで「統一のあかつき」の歌唱指導をまじえて、つぎつぎにうたごえをひびかせ、あいまに、会費制でコーヒーやラーメンも出ました。

午後五時には近くの大平山へのぼり、日の出を合図に「沖縄を返せ」「一坪たりとも渡すまい」「みんなが笑う日まで」など力いっぱいうたいました。

零下十度の中で

北海道・北見から

【北海道・北見発】北見ではじめてとりくまれた「あかつきの大合唱」は、本覚寺の境内で約五十人の仲間を集めて開かれました。零下十度の寒気の中で、たき火をかこんでうたやフォークダンスなどで体をあたためながら、夜明けを待ちました。初日の出とともに「沖縄を返せ」「がんばろう」のうたごえをひびかせ、たたかう決意をかためあい、あま酒でカンパイしました。また、沖縄の仲間へ「明けましておめでとう。新しい年をともにガンバロウ」の電報をうちました。

一九六八年あかつきの大合唱アピール

全国中心合唱団会議臨時活動者会議

全国の平和とうたごえを愛する仲間のみなさん！

第五次日本のうたごえ沖縄派遣代表団二十八名は、一九六八年日本の夜明けの太陽をむかえた那覇市波の上神社で、十万余名の県民とともに「あかつきの大合唱」を成功させました。

私たちは、全国津々浦々で今日を六八年の出発点に総決起している仲間たちに、沖縄から熱い連帯の挨拶をおくります。沖縄の即時、無条件全面返還の斗いは、日本の独立をかちとり、ベトナム人民を支援する当面の最大の課題の一つとなっています。これは、本土と沖縄県民が「返せ沖縄」「一坪たりとも渡すまい」で固く一つに結ばれることによって勝ちとることができるものです。

私たちは、「あかつきの大合唱」の成功の上にたって、「返せ沖縄、帰れアメリカ、よびかわそうベトナムの友と」の合言葉で、うたごえを一千万人にひろげるため、次の活動にとりくむことを、たからかによびかけます。

一、六七年日本のうたごえ総会決議の実践にたって、

①4・28海上大会の成功のためにとりくもう。

②第七回沖縄のうたごえ祭典成功のためにとりくもう。

③歌劇「沖縄」の製作、上演をかちとろう。

二、十一月全国中心合唱団会議活動者会議の決議をすぐ実践しよう！

①一千万人みんなうたう会のアンケート集計にとりくもう。

②うたごえ新聞倍加活動を成功させよう。

③ベトナム交響曲「祖国」の演奏にとりくもう。

④第一回日本のうたごえ実行委と全国中心合唱団会議を成功させよう。

三、春斗を斗う労働者をはげまし、分裂策動を粉砕する。春斗勝利のみんなうたう会、うたごえ集会を全国各地各職場でひらこう！

全国の平和とうたごえを愛する仲間のみなさん！

一九五七年元旦に、四名の沖縄の青年によってはじめられた〝あかつきの大合唱〟は、今年十二年目の壮大な〝大合唱〟にひろがりました。私達はこの成果をよりいっそう発展させ、沖縄の即時無条件全面祖国復帰をかちとり、真の日本の独立と平和の日まで、ベトナムの兄弟とともに高らかにうたいつづけていきましょう！

一九六八年一月五日沖縄にて

全国中心合唱団会議
臨時活動者会議